

全教職員での共有と徹底 4月はずいぶん児童生徒と教職員との信頼関係を基盤にした生活・学習の規律の定着を目指しましょう！

「生活・学習の規律を定着させる取組」

規律の理解

楽しく生活・学習するために定着させたい規律を具体的な行動レベルで理解させる。

①自己決定による行動

児童生徒が自主的に行動する機会をつくる。

②教職員による承認

児童生徒の行動を具体的に褒める。

③行動の価値付けと良さの実感

児童生徒の行動の価値付けを全体の場で行い、規律を守る良さを実感させる。

定着するまで、①～③を繰り返す

〈参考〉
津事管内で徹底させたい
学習規律

- ・最後まで静かに聞く
- ・大きな声で返事をする
- ・ていねいに話す

「児童生徒と教職員との信頼関係づくり」

児童生徒が話しかけやすい雰囲気づくり

休み時間や放課後などに、児童生徒と一緒に遊んだり、話をしたりするなど、児童生徒と一緒に教師自身が楽しむ時間をつくる。

教師の積極的な関わり

名前を呼んで挨拶したり、児童生徒の変化に気付き、言葉にして伝えたりするなど、教師から話しかける。

児童生徒を承認

児童生徒の頑張りや、取り組んだ行為に対して、小さなことでも具体的な言葉にして褒める。

児童生徒の存在を尊重

注意をするときは、人間性を否定するのではなく、問題となる行為を具体的に注意し、望ましい行為を行動レベルで伝える。

落ち着いた生活・学習環境によるスタート